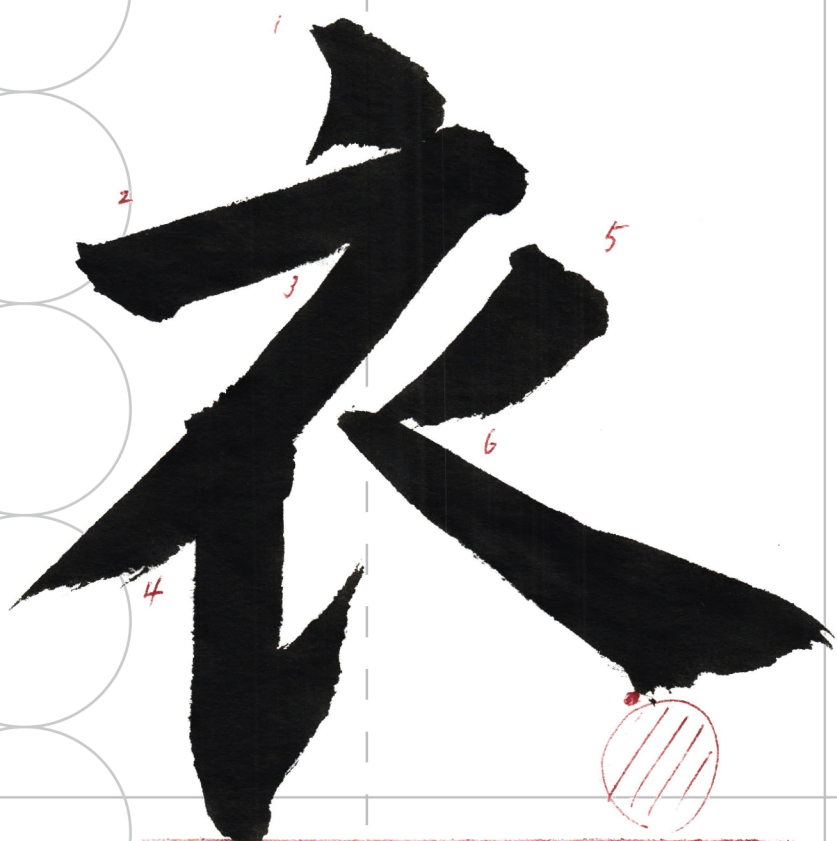
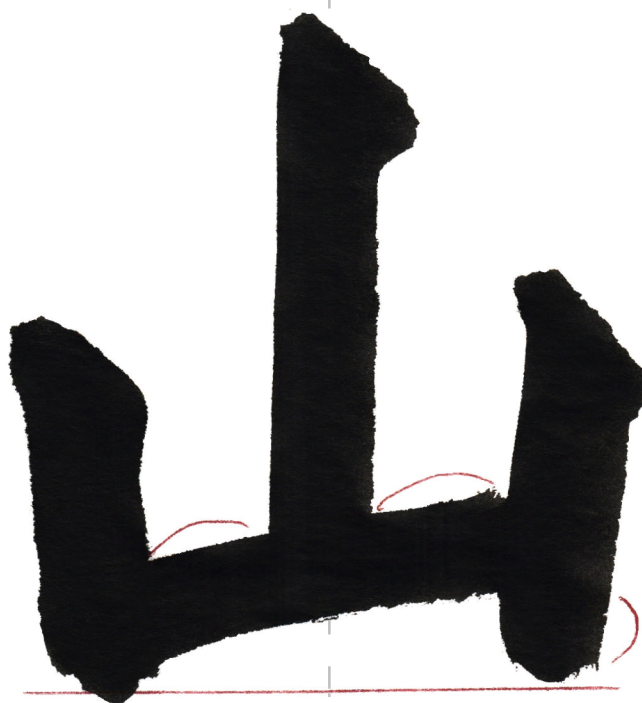


段級



おうよう 欧陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から
字を集めて、倣書(背臨)で書いています
九成宮醴泉銘は、「楷書の極則」と
評されている。字形は、端正、縦長、
厳格で切れ味鋭い筆法、背勢で
直線的である。
全体に上に狭く、下に広い特徴がある

やまこまや
山濃かにして衣を染めんと欲す
新緑は衣を染むる如くに濃やかである。

(楊萬里の詩)